

# 琉球大学学術リポジトリ

琉球列島及びその周辺より近年記載された短尾類への標準和名の提唱

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2018-03-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 成瀬, 貫, Naruse, Tohru メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/38815">http://hdl.handle.net/20.500.12000/38815</a>



## 琉球列島及びその周辺より近年記載された短尾類への標準和名の提唱

成瀬貫

〒907-1541 沖縄県八重山郡竹富町字上原 870 琉球大学熱帯生物圏研究センター西表研究施設  
naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp

## はじめに

近年も精力的に行われている琉球列島産短尾類（甲殻亜門：軟甲綱：十脚目）相の調査により、多くの新種や分布新記録が報告されている（例えば、Naruse 2014; Rahayu & Ng 2014; 前之園 2015a, b, 2016a-c; 前之園・成瀬 2015, 2016; 前之園ら 2015; Naruse & Fujita 2015; 前之園・佐伯 2016; 成瀬 2016; Ng et al. 2016; Ohtsuchi & Kawamura 2016）。これらの中には特殊な環境のみ生息している種が多数含まれ、非常に残念な事であるが、発見した際にはすでに生息環境が人間活動により減少しつつある場合が多く、各種レッドデータブックなどに掲載された種も少なくない（日本ベントス学会 2012; 沖縄県 2017; 環境省 2017a, b）。実際にこれら生物の保護を模索する民間や行政、あるいは教育などの公共の現場では、なじみのない外国語由来の学名ではなく標準和名が主に使用されている。学術論文として発表された短尾類の新種や分布新記録について、特に海外の学術誌に掲載された場合、標準和名が提唱されていない例が多々あり、その称呼や実際にその学名がどの種を指しているのかを特定するのに不便を強いていることが考えられる。本報では、著者が記載に関わった主に国内に分布する短尾類のうち、和名未提唱であった種と属について標準和名を提唱する。

標準和名の命名方法については、疋田 (2000)、千石 (2000)、瀬能 (2002) を参照した。瀬能 (2002) に従い、種の標準和名にはその名称の基準となる標本を指定した。学名の命名に関する諸用語の和訳は、国際動物命名規約 第4版 日本語版（動物命名法国際審議会 2000）に従った。本編で言及した標本は、千葉県立中央博物館 (CBM: Natural History Museum and Institute, Chiba) と琉球大学博物館（風樹館）(RUMF: Ryukyu University Museum, Fujukan, Okinawa) に収蔵されている。

## 学名と標準和名

Leucosiidae コブシガニ科  
*Alox* Tan & Ng, 1995 カルイシコブシ属

備考・Tan & Ng (1995) は *Oreophorus* 属及び近縁な属の分類学的再検討を行い、*Alox* Tan & Ng, 1995 と *Cateios* Tan & Ng, 1995 を創設しつつ整理した。*Oreophorus* 属には、Tan & Ng (1995) 以前はカルイシコブシ *Alox ornatus* (Ihle, 1918) が含まれており、*Oreophorus* 属の和名は「カルイシコブシ属」とされていた（例えば、Sakai 1976: 58 [(3) 日本語版]; 三宅 1983: 200）。しかし現在、カルイシコブシは *Alox* Tan & Ng, 1995 に移されており、また *Oreophorus* 属に含まれる6種はいずれも日本からは報告されていない (Tan & Ng 1995; Huang 2010)。一方、*Alox* 属には和名が与えられておらず、現在含まれる14種 (Tan & Ng 1995; Galil & Ng 2007, 2009, 2015) のうち6種は日本に産し（丸村・小阪 2003; Ohtsuchi & Kawamura 2016）、それらの和名はいずれも「カルイシコブシ」という名称を含んでいる。*Alox* 属と *Oreophorus* 属の和名とそれぞれの構成種の関係を明瞭にするため、「カルイシコブシ属」という和名を *Alox* 属に移譲することを提案したい。

*Alox uru* Naruse & Ng, 2006  
ウルカルイシコブシ (新称)

基準標本・ホロタイプ、雄、甲長 4.4 mm, 甲幅 5.8 mm, CBM-ZC 8906, 中城湾南浮原島沖 (26°18.066' N, 127°58.460' E, 水深 3 m), 2005 年 12 月 20 日、成瀬貫・松尾安則、SCUBA ダイビング・ドレッジにより採集。

備考・本種の種小名「*uru*」は、体色が乳白色で甲の表面がでこぼこしており、死サンゴ片のように見えるため、沖縄の言葉でサンゴ砂を意味する「ウル」にちなんで名付けられた (Naruse & Ng 2006)。本種には標準和名「ウルカルイシコブシ」を提唱する。

*Arcania* Leach, 1817 トゲコブシ属  
*Arcania cornigera* Naruse, 2014  
トガリジュウイチトゲコブシ (新称)

基準標本・雄、甲長 29.7 mm, 甲幅 28.2 mm, RUMF-ZC-2364, 高知県土佐佐賀漁港, 2009 年 7

月7日, 成瀬貫・上野大輔・太田悠造採集.

**備考.** Naruse (2014) は, ジュウイチトゲコブシ *Arcania undecimspinosa* De Haan, 1841 として同定された過去の報告には多くの誤同定が含まれており, その中には未記載種であった *A. cornigera* Naruse, 2014 も含まれていたことを示した. フィリピン, 台湾, 日本, 韓国などにも分布している *A. cornigera* は, 額の両端が前方に鋭く突き出していることにより, ジュウイチトゲコブシから簡単に区別できる. この形質にちなみ, *A. cornigera* に和名新称「トガリジュウイチトゲコブシ」を提唱する.

#### ***Arcania tropicalis* Naruse, 2014**

ネッタイジュウイチトゲコブシ (新称)

**基準標本.** パラタイプ, 雌, 甲長 24.8 mm, 甲幅 23.1 mm, RUMF-ZC-2722, 台湾高雄蚵仔寮 (Kezailiao) 漁港, 2011年7月17日, 吉田隆太採集.

**備考.** 本種は, 甲の形やその周りの棘がナガジュウイチトゲコブシ *Arcania elongata* Yokoya, 1933 に非常に似るが, 雌雄の生殖器の形状により容易に識別される (Naruse 2014). 本種は台湾, 香港, フィリピン, バヌアツから報告されている. 本種の日本からの記録はまだないが, 台湾から地理的に近い琉球列島に本種が分布していることも十分考えられる. 本種に対し, 和名新称「ネッタイジュウイチトゲコブシ」を提唱する.

#### **Portunidae Rafinesque, 1815 ワタリガニ科**

##### ***Kume* Naruse & Ng, 2012**

アッチイガザミ属 (新称)

##### ***Kume tigre* Naruse & Ng, 2012**

クメジマアッチイガザミ (新称)

**基準標本.** ホロタイプ, 雄, 甲長 2.4 mm, 甲幅 4.7 mm, RUMF-ZC-1400, 久米島沖ウーマガイ, 26°20.769' N, 126°51.506' E, 水深 55 m, KUMEJIMA 2009 Stn. Diving 1, 2009年11月9日, 上野大輔採集.

**備考.** Naruse & Ng (2012) は, 久米島の水深 55m より採集された未記載種に, 新属 *Kume* Naruse & Ng, 2012 を Carupinae 亜科内に創設した. *Kume* は第5胸脚が遊泳脚にならないことから, Pele Ng, 2011 やハイガザミモドキ属 *Libystes* A. Milne-Edwards, 1867, あるいはハイガザミ属 *Catoptrus* A. Milne-Edwards, 1870 に類似する. *Kume* には, 沖縄口で「歩き」を意味する「アッチイ」にちなみ, 新称「アッチイガザミ属」を提唱する. また, アッチイガザミ属のタイプ

種となった *Kume tigre* Naruse & Ng, 2012 には, 新称「クメジマアッチイガザミ」を提唱したい.

#### **Aphanodactylidae Ahyong & Ng, 2009**

##### **ココビピンノ科**

##### ***Takedactylus* Naruse & Manenosno, 2012a**

タケダココビピンノ属 (新称)

##### ***Takedactylus masatsunei* Naruse & Manenosno, 2012a**

タケダココビピンノ (新称)

**基準標本.** ホロタイプ, 雌, 甲長 1.8 mm, 甲幅 2.9 mm, RUMF-ZC-1716, 瀬底島, 2009年7月22日, 前之園唯史採集.

**備考.** Naruse & Manenosno (2012a) は, 瀬底島より採集されたココビピンノ科の新属新種を *Takedactylus masatsunei* Naruse & Manenosno, 2012 として記載した. 属と種にそれぞれ和名の新称となる「タケダココビピンノ属」と「タケダココビピンノ」を提唱する.

#### **Pinnotheridae De Haan, 1833 カクレガニ科**

##### ***Indopinnixa* Manning & Morton, 1987**

トウヨウマメガニ属 (新称)

**備考.** Naruse & Maenosono (2012b) は, 当時日本から分布記録がなかった *Indopinnixa* Manning & Morton, 1987 の未記載種2種を久米島と沖縄・瀬底島から記載した. *Indopinnixa* 属は, 大西洋西部と太平洋東部を中心に一部インド-太平洋にも分布する類似のマメガニ属 *Pinnixa* White, 1846 より, 主に雄の第5・6腹節が癒合することにより主に識別できるとされている (Manning & Morton 1987) が, マメガニ属にも様々な癒合パターンが認められ (Naruse & Maenosono 2012b: table 1), 分類学的再検討が望まれている. *Indopinnixa* には現在7種が知られており (Manning & Morton 1987; Davie 1992; Rahayu & Ng 2010; Naruse & Maenosono 2012b; Ng 2014), いずれもインド-西太平洋域に分布している. これに因み, *Indopinnixa* に対して新称「トウヨウマメガニ属」を提唱する.

##### ***Indopinnixa kumejima* Naruse & Maenosono, 2012b**

クメジママメガニ (新称)

**基準標本.** ホロタイプ, 雄, 甲長 2.7 mm, 甲幅 6.5 mm, RUMF-ZC-1397, 久米島島尻沖, 26°19.054' N 126°48.702' E - 26°18.958' N 126°48.724' E, 水深 5.6-13.1 m, KUMEJIMA 2009 stn. Dredge 69, 2009年11月18日採集.

**備考.** 久米島より採集された標本を基に記載された本種に対し、和名新称「クメジマメガニ」を提唱する。

***Indopinnixa oryza* Naruse & Maenosono, 2012b  
コメツブマメガニ (新称)**

**基準標本.** ホロタイプ, 雄, 甲長 2.6 mm, 甲幅 4.3 mm, RUMF-ZC-1394, 沖縄島浦添市伊奈武瀬, 2009年7月5日, 前之園唯史採集。

**備考.** 沖縄島と瀬底島より採集された標本を基に記載された本種の種小名は, 甲の形が米粒のように見えるため, 「米」のラテン語「*oryza*」にちなんで名付けられた (Naruse & Maenosono 2012b). そのため, 本種には和名新称「コメツブマメガニ」を提唱する。

**謝辞**

本編で扱った3種の記載論文で共著者の前之園唯史氏 (かんきょう社) には, 提唱する和名に同意して頂いた。仲与志勇氏と伊集力也氏には沖縄口について, また2名の匿名査読者と James Davis Reimer 氏 (琉球大学理学部) には記述内容についてご助言を頂いた。

**引用文献**

- Davie, P.J.F., 1992. A new species and new records of intertidal crabs (Crustacea: Brachyura) from Hong Kong. In: B. Morton (ed.), The marine flora and fauna of Hong Kong and southern China III. Proceedings of the Fourth International Marine Biological Workshop: The Marine Flora and Fauna of Hong Kong and Southern China, Hong Kong. Pp. 345–359. Hong Kong University Press, Hong Kong.
- 動物命名法国際審議会, 2000. 国際動物命名規約 第4版日本語版. 日本分類学会連合, 東京.
- Galil, B.S. & P.K.L. Ng, 2007. Leucosiid crabs from Panglao, Philippines, with descriptions of three new species (Crustacea: Decapoda: Brachyura). Raffles Bulletin of Zoology, Supplement 16: 79–94.
- Galil, B.S. & P.K.L. Ng, 2009. A new species of *Alox* Tan & Ng, 1995 (Decapoda: Brachyura: Leucosiidae) from Balicasag Island, the Philippines. Raffles Bulletin of Zoology, Supplement 20: 267–270.
- Galil, B.S. & P.K.L. Ng, 2015. Leucosiid crabs from Papua New Guinea, with descriptions of eight new species (Crustacea: Decapoda: Brachyura).

- Zootaxa, 4027(4): 451–486.
- 疋田努, 2000. 本邦爬虫両棲類和名考. 爬虫両棲類学会報, 2000(2): 99–111.
- Huang, J.-F., 2010. On a new species, *Oreophorus holthuisi* sp. nov. (Decapoda, Brachyura, Leucosiidae), from the Indian Ocean. In: H. Komatsu, J. Okuno & K. Fukuoka (eds.), Studies on Eumalacostraca: a Homage to Masatsune Takeda. Crustaceana Monographs. Fransen, C.H.J.M. and J.C. von Vaupel Klein (series eds.) Vol. 17. Pp. 333–342. Brill, Leiden.
- 環境省, 2017a. 海洋生物 環境省レッドリスト 2017. <http://www.env.go.jp/press/files/jp/106405.pdf> (2017年11月5日確認).
- 環境省, 2017b. その他無脊椎動物 環境省レッドリスト 2017. <http://www.env.go.jp/press/files/jp/105449.pdf> (2017年11月5日確認).
- 前之園唯史, 2015a. 琉球列島より採集された2種のイボショウジンガニ属 (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目: ショウジンガニ科). Fauna Ryukyuna, 26: 9–15.
- 前之園唯史, 2015b. 琉球列島の宮古島および西表島より採集された日本初記録のシロツメアシハラガニモドキ (新称) (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目: ベンケイガニ科). Fauna Ryukyuna, 26: 17–22.
- 前之園唯史, 2016a. 沖縄諸島より採集された日本初記録のツブヨコナガオキナガニ (新称) (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目: ケブカガニ科). 沖縄生物学会誌, 54: 39–45.
- 前之園唯史, 2016b. 琉球列島の宮古島より採集されたクボミカルイシガニ (新称) (十脚目: 短尾下目: ヒシガニ科). Fauna Ryukyuna, 30: 17–19.
- 前之園唯史, 2016c. 琉球列島より採集された日本初記録のヒシガニ科 (十脚目: 短尾下目) 2種の報告および1稀種の追加報告. Cancer, 25: 33–39.
- 前之園唯史・成瀬貫, 2015. 琉球列島のカクベンケイガニ属 (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目: ベンケイガニ科) 6種の形態的特徴と分類学的諸問題. Fauna Ryukyuna, 23: 1–41.
- 前之園唯史・成瀬貫, 2016. 石垣島より採集された日本初記録のベンケイガニ科 (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目) の2種. Fauna Ryukyuna, 28: 5–22.
- 前之園唯史・佐伯智史, 2016. 新産地記録を伴う石垣島のベンケイガニ類相 (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目). Fauna Ryukyuna, 33: 1–13.
- 前之園唯史・長井隆・成瀬貫, 2015. 石垣島より採集された日本初記録のダルマガニ (新称) (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目: モクズガニ

- 科). 沖縄生物学会誌, 53: 31–36.
- Manning, R.B. & B. Morton, 1987. Pinnotherids (Crustacea: Decapoda) and leptonaceans (Mollusca: Bivalvia) associated with sipunculan worms in Hong Kong. Proceedings of the Biological Society of Washington, 100(3): 543–551.
- 丸村眞弘・小阪晃, 2003. 永井誠二コレクションカニ類標本目録. 和歌山県立自然博物館, 海南.
- 三宅貞祥, 1983. 原色日本大型甲殻類図鑑, 2. 保育社, 大阪.
- Naruse, T., 2014. Description of two new species of *Arcania* Leach, 1817, from the western Pacific Ocean and redescription of *A. undecimspinosa* De Haan, 1841, and *A. elongata* Yokoya, 1933 (Crustacea: Brachyura: Leucosiidae). Zootaxa, 3814(3): 301–332.
- 成瀬貫, 2016. 琉球列島の陸水無脊椎動物の特徴と最近の発見. 陸水学雑誌, 77: 203–209.
- Naruse, T. & Y. Fujita, 2015. *Lipkemera iejima*, a new cavernicolous crab (Brachyura: Xanthidae) from a submarine cave at Ie Island, central Ryukyu Islands, Japan. Crustacean Research, 44: 21–27.
- Naruse, T. & T. Maenosono, 2012a. A new genus and species of Aphanodactylidae Ahyong & Ng, 2009 (Decapoda, Brachyura, Pinnotheroidea) from the Ryukyu Islands, Japan. In: H. Komatsu, J. Okuno & K. Fukuoka (eds.), Studies on Eumalacostraca: a Homage to Masatsune Takeda. Crustaceana Monographs. Fransen, C.H.J.M. and J.C. von Vaupel Klein (series eds.) Vol. 17. Pp. 225–231. Brill, Leiden.
- Naruse, T. & T. Maenosono, 2012b. Two new species of *Indopinnixa* Manning & Morton, 1987 (Decapoda: Brachyura: Pinnotheridae) from the Ryukyu Islands, Japan. In: T. Naruse, T.-Y. Chan, H. H. Tan, S. T. Ahyong & J. D. Reimer (eds.), Scientific Results of the Kumejima Marine Biodiversity Expedition — KUMEJIMA 2009. Zootaxa, 3367: 222–231.
- Naruse, T. & P.K.L. Ng, 2006. Two new species of leucosiid crabs (Decapoda: Brachyura) from the Ryukyu Islands, Japan. Crustacean Research, 35: 108–116.
- Naruse, T. & P.K.L. Ng, 2012. *Kume tigma*, a new genus and new species of carupine swimming crab (Crustacea: Brachyura: Portunidae) from Kume Island, Ryukyu Islands, Japan. In: T. Naruse, T.-Y. Chan, H. H. Tan, S. T. Ahyong & J. D. Reimer (eds.), Scientific Results of the Kumejima Marine Biodiversity Expedition — KUMEJIMA 2009. Zootaxa, 3367: 204–210.
- Ng, P.K.L., 2014. *Indopinnixa shellorum*, a new species of pea crab (Crustacea: Brachyura: Pinnotheridae) associated with a sipunculid from Singapore. Raffles Bulletin of Zoology, 62: 696–700.
- Ng, P.K.L., C.-W. Lin & T. Naruse, 2016. Revision of the spider crab genus *Sargassocarcinus* Ward, 1936 (Crustacea: Brachyura: Epialtidae). Zootaxa, 4162(2): 313–330.
- 日本ベントス学会 (編), 2012. 干潟の絶滅危惧動物図鑑 — 海岸ベントスのレッドデータブック. 東海大学出版会, 秦野.
- Ohtsuchi, N. & T. Kawamura, 2016. Redescription of *Alox chaunos* Galil & Ng, 2007 (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Leucosiidae) new to Japan; with notes on the male characters of *A. latusoides* (Sakai, 1937). Zootaxa, 4111(1): 41–52.
- 沖縄県 (編), 2017. 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第3版 (動物編) — レッドデータおきなわ —, 沖縄県文化環境部自然保護課, 那覇.
- Rahayu, D.L. & P.K.L. Ng, 2010. Two new species of *Indopinnixa* Manning & Morton, 1987 (Crustacea: Brachyura: Pinnotheridae) from Lombok, Indonesia. Zootaxa, 2478, 59–68.
- Rahayu, D.L. & P.K.L. Ng, 2014. New genera and new species of Hexapodidae (Crustacea, Brachyura) from the Indo-West Pacific and east Atlantic. Raffles Bulletin of Zoology, 62: 396–483.
- Sakai, T., 1976. Crabs of Japan and the Adjacent Sea. [In 3 volumes: (1) English text, (2) Plates volume, (3) Japanese text]. Kodansha, Tokyo.
- 千石正一, 2000. 和名に対する考え方. 爬虫両棲類学会報, 2000(1): 36–39.
- 瀬能宏, 2002. 標準和名の安定化に向けて. 青木淳一・松浦啓一・奥谷喬司 (編), 虫の名, 貝の名, 魚の名 — 和名にまつわる話題. Pp. 192–224. 東海大学出版会, 秦野.
- Tan, C.G.S. & P.K.L. Ng, 1995. A revision of the Indo-Pacific genus *Oreophorus* Rüppell, 1830 (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Leucosiidae). In: B. Richer de Forges (ed.), Les Fonds Meubles des Lagons de Nouvelle Calédonie (Sédimentologie, benthos). Etudes & Thèses, Volume 2. Pp. 101–189. ORSTOM, Paris.

**Standard Japanese names for recently described brachyurans from the Ryukyu Islands and adjacent waters.**

**Tohru Naruse**

Tropical Biosphere Research Center, Iriomote Station, University of the Ryukyus (naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp)

**Abstract.** Recent active researches have discovered a large number of brachyuran new species and newly recorded species from Okinawa and Japan. Unfortunately, the habitats of these species have often been decreased due to human activities. Taxa are usually addressed by standard Japanese names in public, non-professional cases in Japan, and it is important to provide such names to enhance conservation activities of private and government groups. The present paper proposes standard Japanese names for seven brachyuran species, viz. *Alox uru* Naruse & Ng, 2006, *Arcania cornigera* Naruse, 2014, *Arcania tropicalis* Naruse, 2014 (Leucosiidae), *Kume tigma* Naruse & Ng, 2012 (Portunidae), *Takedactylus masatsunei* Naruse & Maenosono, 2012 (Aphanodactylidae), *Indopinnixa kumejima* Naruse & Maenosono, 2012, and *Indopinnixa oryza* Naruse & Maenosono, 2012 (Pinnotheridae). The generic name of *Alox* Tan & Ng, 1995, is reconsidered, and new Japanese names for the genera *Indopinnixa* Manning & Morton, 1987, *Kume* Naruse & Ng, 2012, and *Takedactylus* Naruse & Maenosono, 2012, are also provided.

投稿日 2016 年 12 月 30 日  
受理日 2017 年 11 月 9 日  
発行日 2017 年 12 月 30 日